



狛江市コミュニティ・スクール
イメージキャラクター
コミュにゃん

コミュニティ・スクール通信 NO.4-2

～一中ゾーンの地域学校協働活動の具体的取組み～

発行/令和4年9月 発行者/学校教育課 担当/地域学校連携支援マネージャー石谷

今号は、「一中ゾーンの地域学校協働活動の具体的取組み」と題して、一体的な推進とは何かに迫ります。

CSと地域学校協働活動の一体的な推進

文部科学省は「学校と地域が協働する、新しい時代の学びの日常に向けた、対話と信頼に基づく学校運営の実現」を旗印に、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動は、一体的な推進を図ることが重要であるとしています。両者が同じ目標やビジョンを共有し、地域を代表して学校運営に参画する「学校運営協議会」の方向性を反映させるように、「地域学校協働活動」は、学校（授業、行事等）を地域で支援していきます。

緑野小学校 外国語科 6年生授業

緑野小学校は、外国語科の専門教諭を配置して、英語の学びを積極的に進めています。本日は、日頃の学びを活か



して、ネイティブなイングリッシュスピーカーと交流する授業です。地域の方や、他校の保護者の方、留学生など様々な立場の方々を、地域コーディネーターの中畑さんが探し実現しました。わが国では、必要に迫られないため、学んだ英語を使う機会が圧倒的に不足しています。意図的に英語を使う機会をつくることは大切だと感じました。最初は戸惑っていた子どもも、自分の知っている英語を駆使して、楽しそうにコミュニケーションをとっていました。

狛江第一小学校 生活科 1年生授業

狛江第一小学校では、1年生の生活科の単元「なつがやってきた」の学びの中で、「夏の野菜について知りたい」



ということになりました。本日は、近隣の農家さんと野菜ソムリエの方をお招きして、今まさに地域で作られている野菜をお持ちいただいて、育て方をお聞きしたり、おいしい食べ方などについて教えていただいたりしました。先生方の授業の目標を聞き、地域コーディネーターの増川さんがゲストティーチャーの候補者を提案、講師依頼や日程調整をして実現しました。子どもたちは、野菜に触って、匂いを感じて、専門家の方にたくさん質問していました。

このような取組みが、個々のつながり・その時限りのもので終わることなく、持続可能で組織的・継続的なものになるために、コミュニティ・スクールはあるといえます。